

LUBRICON®

導入各車エンジンクリーン化と完全燃焼の実現、それは効果的な燃費向上をもたらしました。

インタンク添加わずか2ヶ月で8.84%の燃費向上実績!

インタンク添加方式で採用のA社様(福岡県内 50 台保有)

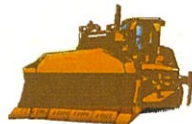


ベース基地に設置のタンクへの LUBRICON 導入にご賛同いただいた同社は大型を中核に総保有台数 50 台を有する地元有力優良企業です。高い管理力とデータ収集力を発揮していただき、わずか 2 ヶ月ながら驚異的な実績を出していただくことができました。インタンクの、しかも全保有車両の総合値は信頼性の高い実績値であることに間違いありません。

LUBRICON は全ての内燃機関用オイル、燃料に有効です



内外航船、フェリー、タンカーなどの船舶用エンジン



工事車両、建設機械、建設作業船など



トラック、バス、特殊車両、運搬用車両など



工業、基地、農業などの発電用ディーゼル機関



軽自動車から SUV、スポーツカーなど全ての乗用車に

更に様々な問題へアプローチ 究極の添加剤を提供致します。



A-212BLK

A-212 で採用されていた酵素技術 LUBRICON に「多層ナノフラーレン二硫化タングステン(IF-WS2)」を始めとした数種類の新素材を配合、飛躍的に性能を向上させた製品。

— 超高性能カスタムエンジンオイル —

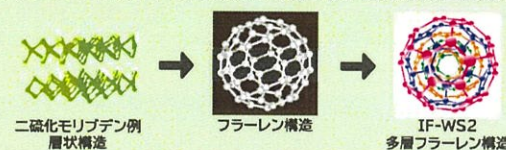
LUBRICON®

SPECIAL OIL TECHNOLOGY

究極の性能、燃費向上を目指して!

*多層ナノフラーレン二硫化タングステン (IF-WS2) とは?

- ・航空宇宙分野、原子力発電所、軍需などで採用されている最高レベルの信頼性を持つ潤滑剤
- ・多層なフラーレン構造(原子が球状のネットワーク化)をしており、タマネギの様な多層な構造を形成
- ・テフロンやモリブデンと比較して約 150 倍の耐摩耗性能



- ・低圧環境では粒子が転がり摩擦を低減、高圧の場合にはナノレベルの球がたわむことによりショックを吸収、更に高圧の際には、たまねぎ構造の層が滑り剥がれることにより潤滑し摩耗を防止、オールマイティーな効果を発揮

カスタムエンジンオイルの御案内

- ・LUBRICON 特製オイルは高度な分子工学技術に基づいたエンジンパーツとして開発した、ノンポリマーオイルです。ベースオイルにエステル (COMPLEX ESTER) を採用することによって、オイルを高性能化、さらに世界で 30 年以上実績、採用されてきた当社の植物酵素系添加剤 (LUBRICON) と革新的な多層ナノフラーレン二硫化タングステン (IF-WS2) 他、有機モリブデン、ボロン添加剤、アルキナフタレン、PAO など高性能化に結び付く添加剤を積極的に採用、ラボでの度重なる実験を経てベストな配合にて製品化。
- ・当社の特製オイルは全て API 規格 (SP/CF) をクリアしています。

オイルの粘度 (0/10/15/20W ~ 16/20/30/40/50/60 など) は幅広く選択頂けます。低燃費車、ハイブリッド、NA、ターボ、大排気量車、ディーゼル、旧車、レース向けなどお車の性能や目的などによってベストな調合を致します。オイル消費対策、漏れ対策なども御相談ください。

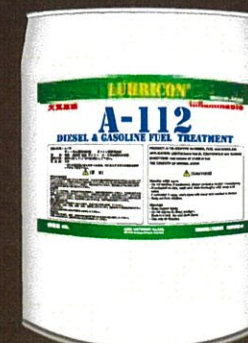
お客様の使用車種、用途、メンテナンス環境、ご予算等に合わせて **オイル消費対策、漏れ対策なども処方可能です。** エステル配合の最高峰のベースオイルに弊社の添加剤を最大限、組み合わせることにより驚異的な燃費性能が達成出来ます。(20%+ 向上の結果も出ています)

LUBRICON®

燃油とオイルの両方からアプローチ 完全燃焼による スラッジ撃退 カーボン解消

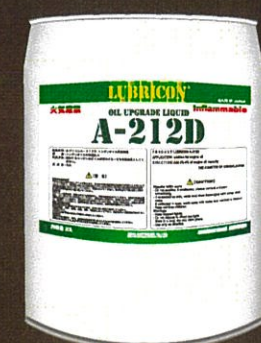
Illustration © 2024 ASIANETWORK Co., Ltd.

軽油
ガソリン
重油
高機能
燃料添加剤



A-112

よく効く、エンジン
クリーニング機能
スラッジがなくなる
スラッジを作らない



A-212D

高機能
ディーゼル
エンジン
オイル添加剤

販売代理店
三菱マテリアルトレーディング株式会社 環境リサイクル部

TEL:03-3660-1652

製品詳細、問い合わせ先



製造・販売元: アジアネットワーク株式会社

LUBRICON A-112 A-212D は最新型エンジンにもベストマッチ

トラック用、乗用車用とも最新鋭のディーゼルエンジンには各社各様の新しい技術が次々と登場しています。さらに高度な電子制御技術による正確な燃料噴射量コントロール、相反する原因によるNOxとPM排出量の低減、音と振動のさらなる低減、さらなる出力向上、DPFのセルフクリーン化など新技術が続々登場しています。いずれの革新技术にも燃料自体の質の向上は不可欠、LUBRICON A-112はこの点においても新しい技術の効果をより高める働きを示す相乗作用を発揮、常にベストマッチングを実現しながらディーゼルエンジンの技術発展を側面から精力的にサポートしていきます。また、LUBRICON A-212Dはエンジンオイルに添加するもので、現用のエンジンオイルに添加して、特に燃焼温度が高温になり、振動も大きく、ピストンリングの固着が起きやすいなど、過酷な条件にさらされるディーゼルエンジンオイルを酵素をはじめ様々な物質によってオイルの性能をアップすることができるオイル添加剤です。



LUBRICON による燃料改質と車両への効果



直噴ディーゼルエンジンはなぜ黒煙が出るのか？

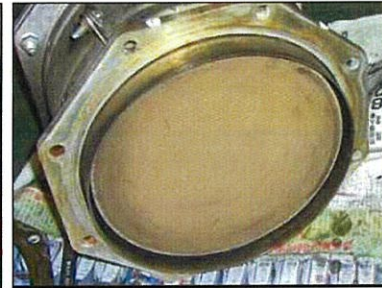
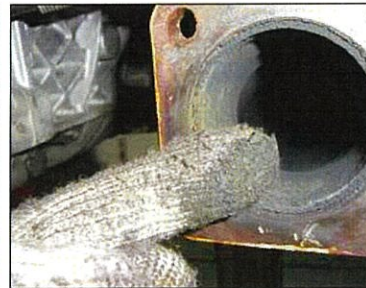
ディーゼルに限らず、ガソリンエンジンでも直噴は黒煙が出ます。その昔ディーゼルは副燃焼室式、ガソリンエンジンは吸気ポートにインジェクションという方式でした。この時代はあまり黒煙は出ていませんでした。何故ならば、燃料と空気（酸素）の混ざり合う時間が十分にあり、燃焼時間も長かったからです。しかし、時代は「馬力」「トルク」「燃費性能」を求め、エンジンは直噴が主流になりました。ディーゼルエンジンの場合、高負荷時（発進時、登坂時等）に黒煙が多く出ますが、それはエンジンが力を出す為に燃料噴射量が増えた結果、空気と接触できない燃料（液滴）が増え、燃え残ることが原因となっています。エンジンが高回転になると、ピストンスピードが上がるため、更に空気と燃料の混合時間が短くなります。登坂時に低いギアを使い続けると、黒煙を吐き続けるのはその為です。

DPF 装着車は、マフラーから黒煙が出ないので、添加剤の必要がないのでは？

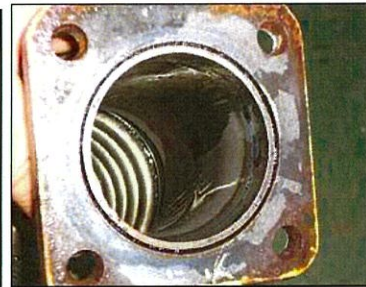
エンジンからは、実は黒煙が出ています。DPF フィルターがあるため、外に排出していないだけです。未燃焼の黒煙が増えると、直噴エンジン特有の凹型ピストンのヘッドにスラッジとして蓄積し、結果として圧縮比が上がり異常燃焼を引き起こします。ピストンリングにも黒煙がスラッジとして回り込み、ピストンリングの動きを阻害し固着、圧縮漏れやフリクションの増加、ピストンの不均衡な動きに繋がります。黒煙はエンジンオイルにも入り込みますが、オイルに混ざるとクランクメタル等の細かいオイルラインにスラッジとして溜まり、スムーズな潤滑ができなくなり、各部の異音や抵抗の増加に繋がります。最終的にはエンジンが焼き付き、故障の原因になります。更に、黒煙をトラップし排出を防ぐ DPF 自体も次第に目詰まりし燃費性能に悪影響を与えます。

■DPF詰まりの症状：頻繁にDPF警告灯がつく
・軽い症状：再生待ち時間ロス、燃料のムダ
・重い症状：修理 ⇒ 稼働ゼロ、修理費のムダ

添加前



添加後

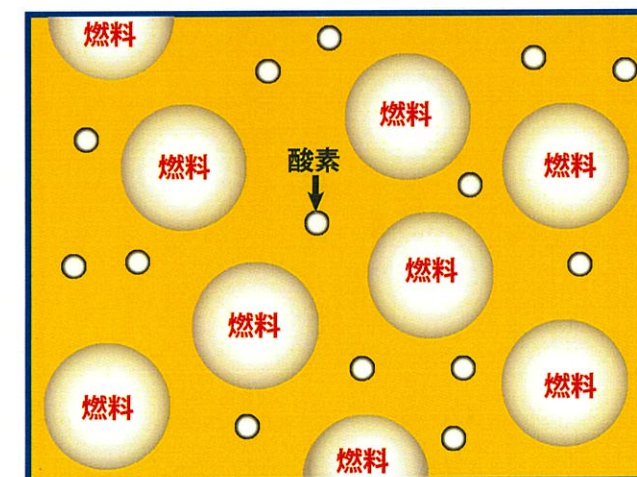


エンジンの構造上防ぐことができないトラブルを LUBRICON A-112 212D で解決

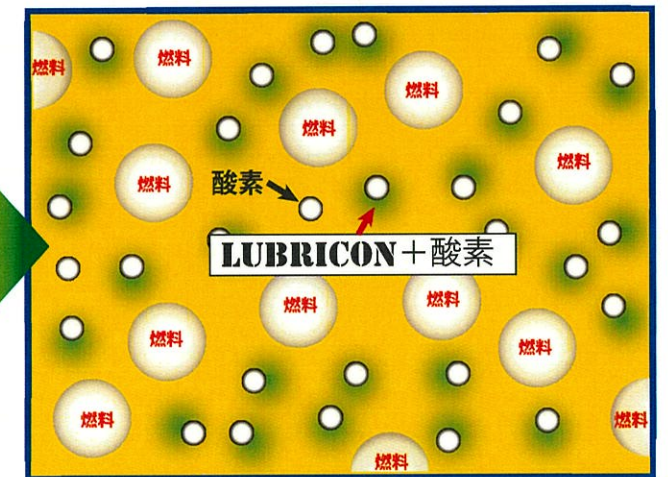
LUBRICON A-112 は、燃料の分子をより細かくします。その結果、燃料がより空気（酸素）と接触しやすくなり、燃焼を促進します。また、**LUBRICON A-112** 自体が酸素を含有していますので、より完全燃焼に近づける燃料に改質していきます。更に、石油系燃料の連鎖炭素の重合を分解する能力があるので、蓄積したスラッジの除去も可能です。インジェクターやピストンヘッド、燃焼室をきれいな状態に保つ為には燃料改質剤の **LUBRICON A-112** を、ピストンリングやオイルライン（特にプレーンベアリング等の隙間が少ない場所）には **LUBRICON A-212D** が有効です。以上の理由から燃焼の促進、フリクションの低減により、燃費性能の向上、DPF メンテナンスの向上が可能となります。

LUBRICON A-112 添加による燃料改質のイメージ

LUBRICON A-112 添加により燃料の分子量が小さくなり、酸素との接触が増えます。燃焼に最適化されることで結果的に一定量の燃料からより多くのエネルギーを取り出すことができ、燃料の不完全燃焼が及ぼす様々な機関トラブルを解消します。（図は模式図化したイメージです）



添加前：一般的な軽油の分子構成です。燃料自体の分子が大きく含まれる酸素も少ないため、より完全な燃焼を達成するには必ずしも必要な条件が揃っていない状態です。



添加後：添加後一定の時間を経過した状態の燃料です。**LUBRICON A-112** の酵素成分のはたらきで燃料の分子が小さくなり、酸素の量も増えて、より完全な燃焼に適した燃料に改質されました。

LUBRICON A-112 を使用する際の注意点

ルブリコンはその効果が植物由来酵素の反応によるものである為、金属部品や機械にダメージを与える事はありませんので安心してお使いいただくことができます。その反面、効果を得るためには燃料に添加後、一定の反応時間を必要とします。さらに高い効果を得るためには直接車両に投入するより、反応時間を長くとることができるインタンクへの投入をお勧めします。また、使用環境（気温等）によっても効果の程度が変わります。スラッジ除去性能については投入直後ではなく、使用時間とともに徐々に効果が現れます。エンジン内部の不純物が多い場合、除去したスラッジを燃やすのに燃料を使うことになるため一時的に燃費性能が落ちる事があります。（※**LUBRICON A-112** と **LUBRICON A-212D** を導入初期に併用することで、ある程度防ぐことができる場合があります。）